

●世界の主な地震

平成 24 年（2012 年）1 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

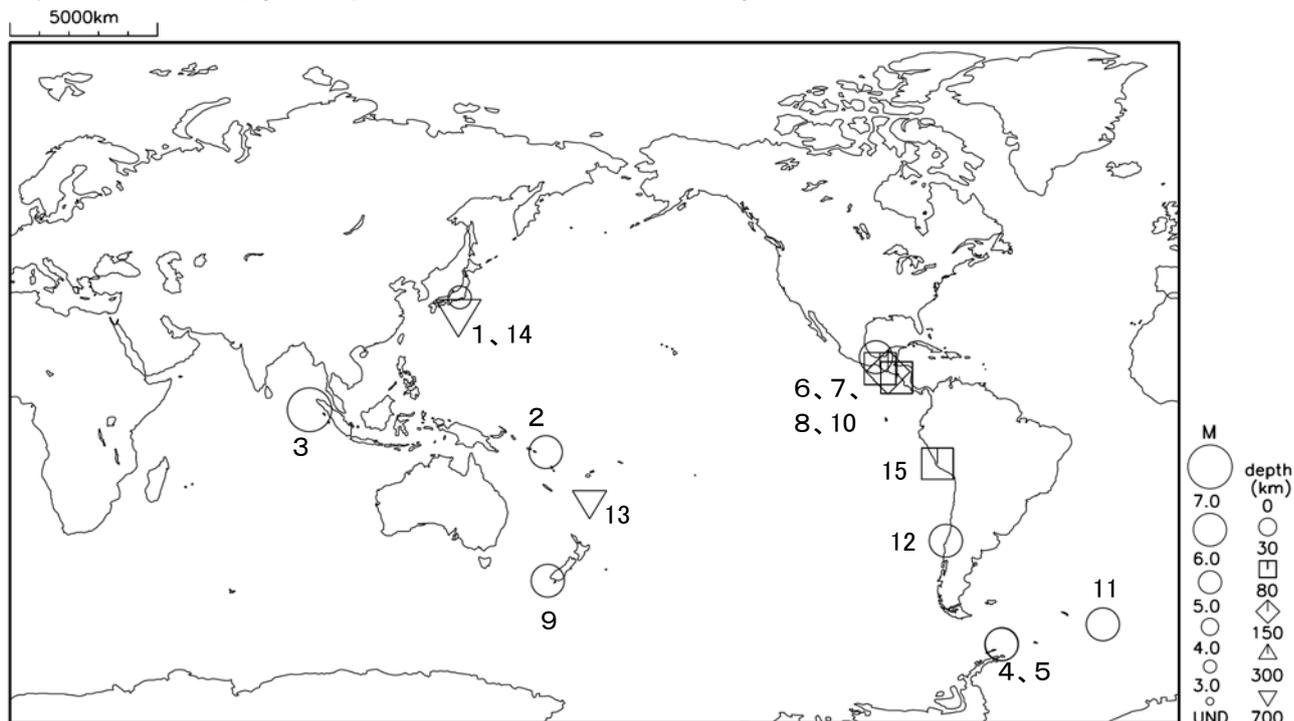


図 1 平成 24 年（2012 年）1 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

* : 震源要素は米国地質調査所 (USGS) 発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS (QED) による。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュードは気象庁による。

** : 数字は、表 1 の番号に対応する。

***: マグニチュードは表 1 の mb（実体波マグニチュード）、Ms（表面波マグニチュード）、Mw（モーメントマグニチュード）のいずれか大きい値を用いて表示している。

表 1 平成 24 年（2012 年）1 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	印洋	遠地
1	01月01日14時27分	N31° 25.6'	E138° 33.9'	397	6.2	(7.0)	(6.8)	鳥島近海				
2	01月09日13時07分	S10° 37.0'	E165° 09.6'	28	6.6	6.4	6.4	サンタクルーズ諸島				
3	01月11日03時36分	N 2° 27.2'	E 93° 12.4'	21	6.6	7.0	(7.2)	インドネシア、スマトラ北部西方沖			○	○
4	01月15日22時40分	S60° 56.8'	W 56° 06.6'	8	6.5	6.4	6.6	サウスシェトランド諸島				
5	01月15日23時21分	S60° 52.7'	W 55° 58.0'	10	6.2	5.9	6.0	サウスシェトランド諸島				
6	01月16日17時26分	N12° 13.0'	W 88° 01.8'	33	4.7		6.1	中央アメリカ沖				
7	01月19日04時55分	N18° 20.0'	W 94° 18.3'	10	4.6		6.6	カンパチエ湾				
8	01月19日12時47分	N13° 57.1'	W 90° 38.5'	95	4.4		6.2	グアテマラ沿岸				
9	01月19日15時48分	S46° 41.1'	E165° 46.6'	20	6.0	5.8	6.0	ニュージーランド、南島西方沖				
10	01月22日03時47分	N14° 58.5'	W 93° 04.2'	79	6.0		6.3	メキシコ、チアパス州沿岸				
11	01月22日14時53分	S56° 44.8'	W 25° 13.3'	13	5.5	6.1	6.0	サウスサンドウィッチ諸島				
12	01月24日01時04分	S36° 24.5'	W 73° 01.5'	20	5.8	6.0	6.2	チリ中部沿岸				
13	01月24日09時52分	S24° 58.9'	E178° 30.5'	581			6.4	フィジー諸島南方				
14	01月28日07時43分	N35° 29.3'	E138° 58.6'	18		(5.4)	(5.2)	山梨県東部・富士五湖	軽傷者1人			
15	01月30日14時11分	S14° 08.8'	W 75° 36.6'	43			6.4	ペルー沿岸	負傷者145人以上、 家屋被害277棟など			

- 震源要素、被害状況等は米国地質調査所 (USGS) 発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS (QED) による（平成 24 年 2 月 1 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュード（Ms の欄に括弧を付して記載）は気象庁に、被害状況は総務省消防庁に、Mw の欄が括弧つきで記されている地震のモーメントマグニチュードは気象庁による。
- 震源時は日本時間 [日本時間 = 協定世界時 + 9 時間] である。
- 1 月 28 日の山梨県東部・富士五湖の地震の被害は神奈川県ホームページによる。
- 「北西」、「印洋」各欄の○印はそれぞれ、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA)、及び、インド洋沿岸諸国に暫定提供しているインド洋津波監視情報 (TWI)（地震・火山月報（防災編）2005 年 5 月号参照）を発表したことを表す。
- 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

1月11日 インドネシア、スマトラ北部西方沖の地震

2012年1月11日03時37分（日本時間）、インドネシアのスマトラ北部西方沖でMw7.2（震源要素は米国地質調査所 [USGS]、Mw は気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁のCMT解）は東北東-西南西方向に張力軸を持つ横ずれ型で、ユーラシアプレートの下に沈み込んでいるインド・オーストラリアプレートの内部で発生した地震である。この地震は2004年12月26日の地震（M9.1）の震源域に近い海溝軸から南西方向に約100km離れた場所で発生した。

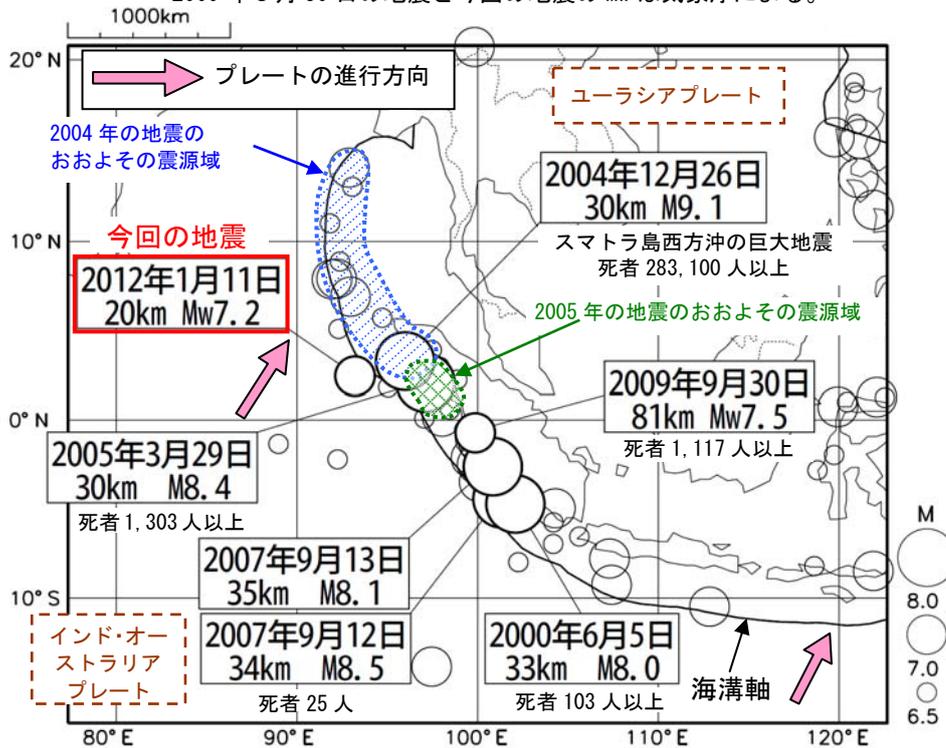
気象庁は、同日04時01分に「インド洋津波監視情報」を発表し、04時06分に「遠地地震に関する情報」を発表した。この地震による津波は観測されていない（米国地球物理学データセンター（NGDC）による）。

今回の地震の震源周辺ではM7.0を超える地震が度々発生している。

震央分布図（1980年1月1日～2012年1月31日、深さ0～100km、M≥6.5）

※震源要素、被害は米国地質調査所（USGS）による。

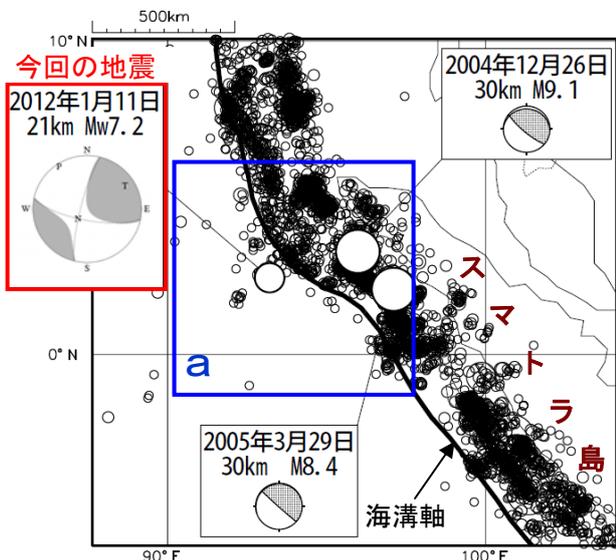
2009年9月30日の地震と今回の地震のMwは気象庁による。



震央分布図（2004年1月～2012年1月、深さ0～100km、M≥4.5）

※震源要素と発震機構は米国地質調査所（USGS）による。

今回の地震のMwと発震機構（CMT）は気象庁による。



領域a内の地震活動経過図

